

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

October / 9 / 2020 # 91

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題
『バランサー』
 - [2] Pepeのひとりごと
『クワルテット（アンサンブル）』
 - [3] おすすめ動画
『白水大介アワー ～BUZZっていいとも！』
『H.Voxman - Selected Studies for Trombone』
 - [4] 演奏のヒント！
『指揮者セミナーより』
 - [5] 編集後記
-

- [1] 旬な話題、気になる話題

『バランサー』

Tromboneには、「バランサー」という楽器を構えたときの前後のバランスを取るための重りというものが存在します。

すべてのモデルに付いているわけではないのですが、楽器によってはそのバランサーで前後の重さのバランスを取って構えやすく、また演奏しやすくセッティングされています。

僕が今オーケストラでメインで使っている楽器は、最近のカスタマイズに

よってあまり必要ないと考えてそのバランサーを外していました（もともとはバランサーの付いていないモデルなんです）。

しかし、練習を少し長めの時間やったり、リハーサルで長時間吹いていると、左手がすごく痛くなってきます。

クワルテットのリハーサルの時にその話をしていたら、メンバーのTくんが「バランサーは付けないんですか？」と聞いてきてくれました。

あ、忘れてた・・・。

その翌日、さっそくバランサーを付けて吹いてみたところ、左手の痛みはなくなりました（笑）。

僕はバランサーを付けることによって起こる音の違いなどはあまり気にならないで、重さのバランスのほうが気になるのですが、このときはすっかりそのことを忘れていました。

いやあ、大切なことですね。

バランサー、付けるともちろん吹き心地も変わってきます。

気になる人は、ぜひ試してみてくださいはいかがですか？

[2] Pepeのひとりごと

『クワルテット（アンサンブル）』

ついに、クワルテット「Pepe Brass」のコンサートが来週になりました！それに合わせて、リハーサルも重ねていっています。

これが、本当に楽しいんです！ :D

もちろん、一緒に吹くことだけではありませんよ。

次元の高いところでできるアンサンブルの醍醐味、とでもいうのでしょうか。

リハーサルでも、音程やタイミングを合わすような作業はほとんどありません（音程の確認はたま～にやりますが、ほとんどはいつも合った状態で進んでいます）。

リハーサルの内容は、全て音楽的なこと。

全体の音楽の流れ方などを確認すると、あとはそのときどきでリードする人が自然とその方向へ音楽を流していき、他の人がそれをサポートしていく。

こういうことが自然にできる環境が、本当に楽しいんです！

最高！そして、幸せです！！ :D

コンサートは、愛媛県東温市で、10月16日（金）の19時開演です。
詳しくはこちらで確認してください。

<https://toonimd.blogspot.com/2020/08/pepe-brass.html>

全員で必死に準備をしています。
たくさんの人に聴いてもらいたいと思っています。
よろしくお願いします！！:)

[3] おすすめ動画

『白水大介アワー ～BUZZっていいとも！』

https://www.youtube.com/watch?v=iLy5H_5Q5hk

今月の1つ目の動画は、関西フィルハーモニー管弦楽団、首席Trumpetの
白水大介さんの動画です。

今年の新型コロナ関連での自粛中に始められた、全国のTrumpet奏者との
対談の動画です。

対談は第1回のNHK交響楽団、首席Trumpetの菊本くんから始まり、紹介制で
どんどんと繋がりが広がっています。

毎週水曜日に更新（白水さんの「水」に更新）。

先日白水さんと話したところ、最近は大いぶオーケストラ活動も再開されて
忙しくなってきたようで、これからもこの毎週更新が続けられるのかは
ゲストと白水さんのスケジュールによってくると思いますが、いろいろな
人の話が聞けて、とても興味深いものとなっています！

もう第22回まで来ていますが、これまでのものも全て見られるので、
ぜひ観てみてください。

『H.Voxman - Selected Studies for Trombone』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=xsYbNZkFDZk&list=PLVTxZF9fjY070PYCwvhSbrBFIduVjIw27&index=1)

[v=xsYbNZkFDZk&list=PLVTxZF9fjY070PYCwvhSbrBFIduVjIw27&index=1](https://www.youtube.com/watch?v=xsYbNZkFDZk&list=PLVTxZF9fjY070PYCwvhSbrBFIduVjIw27&index=1)

2つ目の動画は、僕自身の動画の紹介です（笑）。

先月のメールマガジンの「演奏のヒント！」のところでも紹介しましたが、
Tromboneのエチュード「H.Voxman - Selected Studies for Trombone」を
コツコツと撮り続け、先日、やっとすべてのエチュードを撮り終えました！！
アップロードは少しずつやっていく予定ですが、ぜひ観てみてください。:)

僕はつい最近までこのエチュードのことは知らなかったのですが、アメリカ
ではよく使われているエチュードのようですが（僕が知らないだけで、
日本でもたくさん使われているのかも？）、これ、いろいろなものが
あっていい勉強になりますよ（すべての調のエチュードが載っています）。

ぜひ、チャレンジしてみてくださいね！ ;)

[4] 演奏のヒント！

『指揮者セミナーより』

毎年夏に、指揮者の沼尻竜典さんの指揮者セミナーをうちのオーケストラが担当をしていて、毎年いろいろと勉強をさせていただいています。

今年のセミナーの中で、こういう言葉が沼尻さんから出ました。

「指揮者の仕事は、（音の出る）1拍前に終わっておくべき」

この言葉を聞いたとき、ものすごく腑に落ちる感じがあったのと同時に、自分たちの演奏にも通ずるものがあるなあ、と感じました。

別の、こういう言葉で聞いたことはありました。

「（音を出す前の）ブレスを取ったときに、（聴いている人が）次の音の予測できるように」

もうかれこれ昔に聞いた言葉で、自分の中にも常にあり、また自分がレッスンをするときにも生徒さんたちに伝えたりすることがあることなのですが、まさにこれ！ ;)

ということかということ、次の音に相応しいブレスを取りましょう、ということです。

例えば、テンポ。

音が出てからテンポは生まれるのではなく、音を出す前からテンポは存在しています。それを感じながらブレスを取ると、そのテンポや曲の表情にあった音が出やすくなります。

これは、とても大切なことだと思っています。

ぜひ、こういうことも気にして演奏してみてください。

きっと、より音楽を楽しみながら演奏活動ができると思いますよ！ ;)

編集後記

少しずついろいろなコンサートが再開できるようになり、演奏活動が忙しくなってきました。

昨日の夜はオーケストラの定期公演があり、そして今は、東京行きの新幹線の中でこれを書いています。 :)

今日移動をして、今日の夕方から明日のバレエ公演（コッペリア）のリハーサルがあります（汗）。

この時期の移動はいろいろと心配ではありますが、もう気をつけるしかありませんよね。

来週にはクワルテットのコンサートもあり、すきま時間にコツコツと練習を積み重ねています。

気温も急に低くなってきて、体調を崩すのにはもってこいの状態になってきました（笑）。

いろいろと気をつけて、毎日を健康に、かつ精力的に過ごしていこうと思っています！

みなさんも、体調には気をつけながら、芸術の秋を堪能してくださいね！ :D

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>